

# 令和元年度 事業報告

## 1 総括

令和元年度は、引き続き、当協議会のプラットフォーム機能の発揮による千葉県経済の活性化を念頭に、会員提案による事業の創出と自走化、会員間の連携・協働などを促進し、各種事業を展開した。

新規事業として、会員から提案のあった「CHIBAビジコンとの連携による新規事業創出の促進」、「訪日客等への『おもてなし』食プロジェクト」、「日本遺産等を活用した誘客促進」、「日本文化の発信によるターミナル空間の価値向上と近隣エリアへの誘客」の事業化とともに、昨年度からの継続事業などを実施した。

一方、いくつかの事業では、9月から10月にかけて房総半島を襲った台風15号、19号及び10月25日の豪雨による自然災害や、年初から続いている新型コロナウイルスの影響により、その実施について、縮小又は先送りを余儀なくされた。

## 2 事業の概要

### (1) ビジネス支援事業

#### ○ 圏央道全線開通を見据えた企業誘致に向けた取組

##### [空港周辺・圏央道への産業集積を促進する事業]

令和6年度の全線開通が見込まれている圏央道千葉県区間の沿線地域の産業集積を見据え、企業誘致に向けた取組を支援する。

地域には、少子化によって廃校となった学校施設が散見されるため、本年度においては、空き公共施設への企業誘致をテーマとしたセミナーを開催する予定であったが、新型コロナウイルスの影響により延期した。

- セミナーでは、成田空港と東葛飾地域がより短時間でつながる意義を体感できるバスツアー（北千葉道路印西ー成田間）も併せて実施する予定であった。

#### ○ CHIBAビジコンとの連携による新規事業創出の促進

##### [成田空港を活用した新しいビジネス創出を促進する事業]

千葉県が主催するCHIBAビジコンへの協賛・賞の創設を通じて、起業家に対し成田空港を活用した新規ビジネスの可能性を示し、新規事業創出の機運を醸成する。

本年度は、成田空港を活用したビジネスの発展性、地域経済への活性化効果な

どの観点から、ビジネス受賞プランを選定・表彰し、副賞として当協議会主催セミナーでの事業紹介の機会を贈呈した。

- ・成田空港活用協議会賞受賞者:(株)蜂蜜工房 代表取締役 井嶋 幸裕氏
- ・受賞プラン:ミード専門ワイナリー

- 多くの起業家が集まるCHIBAビジコンの場で、成田空港活用協議会賞を授与し、成田空港を活用したビジネスについて、関心を高めることができた。

## ○ アジア経済圏におけるマーケティング

### 【成田空港を活用した新しいビジネス創出を促進する事業】

現地消費者を対象に定量・定性調査を実施、分析することで、県内誘客・県産品の認知拡大を促進する。

本年度においては、昨年度の調査結果を踏まえた効果的な調査方法の検討に時間を要したとともに、新型コロナウイルス感染症の拡大のため、事業を見合わせるようになった。

- アジア経済圏における消費の取り込みを図る調査の実施に当たっては、新型コロナウイルスの収束の見通しを踏まえる必要がある。

## ○ アクティビティ（体験型）商品開発

### 【成田空港を活用した新しいビジネス創出を促進する事業】

訪日外国人向けアクティビティ(体験型)商品開発の公募とモニターツアーの実施により、県内へのインバウンド誘客に繋がる新たな商品展開を目指す。

本年度においては、前年度選定した会員と連携し開発したアクティビティ商品のモニターツアーを実施し、ツアー結果を踏まえた商品の磨き上げ等を行った。

なお、台風被害や新型コロナウイルス等の影響により、ツアーの内容及び実施回数等は、当初予定から規模を縮小して行った。

#### (1) 芝山町（みどりと空のプロジェクト）

実施日：令和元年11月15日

行程：殿塚・姫塚（古墳）見学、芝山仁王尊・観音教寺・芝山ミュージアム、芝山古墳・はにわ博物館、森林浴道場・そば打ち見学

#### (2) 千葉市（ケアグリーン）

実施日：令和2年1月7日

行程：日本寺にて唱題行<sup>※</sup>、武術体験及び殺陣の動画撮影

※唱題行とは、「南無妙法蓮華経」を唱える修行。

- 実施したモニターツアーは概ね好評であったが、商品化にあたってはツアーにストーリー性を持たせることや、歴史的背景等に精通したガイドの重要性を認識し、更なる磨き上げを行うことが課題として見いだされた。

## ○ 航空/空港関連企業との商談会

### 【成田空港を活用した新しいビジネス創出を促進する事業】

航空／空港関連事業者と会員を含む県内食品事業者とのビジネスマッチングを行うことで、成田空港を起点とした新しいビジネス（取引）の実現を図る。

本年度においては、全日本空輸関連企業をバイヤーとした商談会を開催し、県経済の活性化及び航空／空港関連事業との取引機運の醸成を図った。

前回に引き続き、開催にあたっては、初参加の事業者も想定して、事前研修や個別アドバイス等を実施し、商品の魅力がより良く伝わるよう支援した。

日 時：令和元年7月31日（水）9時30分～17時20分

（午前の部・午後の部の2部制）

場 所：ANAクラウンプラザホテル成田

参加者：バイヤー6社（7部門）、サプライヤー56社

成約件数：サプライヤー6社において7件（令和元年10月末時点）

※ 令和2年3月に予定していた日本航空関連企業等との商談会は、新型コロナウイルスの影響により、開催を延期した。

- 全日本空輸関連企業との商談の場を設けることにより、県内企業・生産者に商品開発・販路開拓における新たな視点をもたらすことができた。また、商談会については、成約に至った商談もあるなど参加者や関係者から好評を得ることが出来た。

## ○ ランドオペレーターとの商談会

### 【成田空港を活用した新しいビジネス創出を促進する事業】

当協議会と千葉インバウンド促進協議会の共催のもと、会員企業、団体及び自治体にランドオペレーターを活用していただくことで、千葉県を訪れる訪日外国人旅行者の増加に向けた魅力的な旅行商品の造成に繋げる。

本年度においては、アジアからの観光客の更なる増加を目指すため、東アジアや東南アジアの両地域を手掛けるランドオペレーターとの商談会を実施した。

また、今回は、台風被害のからの復興を後押しするため、商談会の翌日には、モニターツアーを実施した。

実施日：令和2年1月28日（火）

会 場：たてやま温泉夕日海岸昇鶴

参加者：ランドオペレーター 11社  
会員企業・団体 30団体（社）  
(千葉インバウンド促進協議会会員を含む)

➤ 千葉インバウンド促進協議会との共催により、観光・宿泊・交通と幅広い会員事業者を呼ぶことができた。

## ○ 訪日客等への「おもてなし」食プロジェクト

### 【成田空港を活用した新しいビジネス創出を促進する事業】

ハラールやベジタリアンに対応した多様な食事が、県内各地で提供される環境が整備され、誰もが「ちばの食」を楽しめる「おもてなし」を創出することを目的として、県内の飲食店、食品事業者への支援を行う。

本年度においては、機運醸成を図るため、セミナーやミーティングを開催したほか、本プロジェクトをブランディングするためのアイコンやウェブページの作成及びポスター等によるPR等を実施した。

#### (1) ちばの『おもてなし』食フォーラム

～食のダイバーシティ先進地ちばを目指して～

日 時：令和元年9月27日（金）

場 所：ホテルスプリングス幕張 ゲストハウス「パラッツィーナ」

内 容：①ちばの「おもてなし」食プロジェクトとは？

②「ムスリムへのおもてなし」

③「ベジタリアンへのおもてなし」

④「ハラール・ビーガン料理試食&懇談会」

#### (2) 事業化促進支援

おもてなしチャレンジミーティング（ミニセミナー）

第1回令和元年11月8日（金）（千葉県主催）※2部制

第1部「ベジタリアンって何？」

第2部「ムスリムフレンドリー対応どうしよう？」

第2回令和元年11月14日（木）（千葉市主催）

第3回令和2年2月10日（月）（千葉県主催）

#### (3) ベジタリアン・ムスリムフレンドリー製品販売機会の提供

①11月21日（木）～23日（土）：県アンテナショップ@KITTE 出展

②1月20日（月）～3月31日（火）：千葉ペリエでの販売

③3月2日（月）～15日（日）：成田空港第一ターミナル内

「千葉トレードセンター」

(4) 千葉県の食の多様性をPRするポスターの掲出

① JR海浜幕張駅改札口 3月10日(火)～13日(金)

※FOODEX期間を想定して実施

②海浜幕張駅近隣ショッピングセンター10か所 ※店舗へ掲出を依頼

➤ 積極的にプロモーションを行い、プロジェクトの周知を図った。

## ○ 日本遺産等を活用した誘客促進

### [県・市町村が行う地方創生関連事業と連携・連動した事業]

日本遺産等の地域資源や地域の魅力を活用し、千葉県内の交流人口拡大と訪日外国人旅行客の増加に向けたツアー造成の為にモニターツアー及び誘客プロモーションを行う。

本年度においては、佐倉市及び成田市において、モニターツアー及び誘客プロモーションを関係団体・企業と連携して実施した。

#### ① モニターツアー

《開催概要(佐倉市)》

日時：令和元年11月29日(金)

行程：JR上野駅⇒佐倉城⇒国立歴史民俗博物館⇒秋田屋(昼食)⇒ひよどり坂  
⇒武家屋敷⇒旧堀田邸⇒佐倉ふるさと広場(買い物)⇒JR上野駅

※ツアースポット間は専用バスで移動

《開催概要(成田市)》

日時：令和2年1月24日(金)

行程：JR上野駅(集合)⇒宗吾霊堂⇒成田山表参道⇒近江屋(昼食)⇒成田山  
新勝寺⇒房総のむら⇒JR上野駅(解散)

※ツアースポット間は専用バスで移動

#### ② 誘客プロモーション

概要：近畿日本ツーリスト首都圏が、パナソニックの映像コミュニティ

「LUMIX CLUB PicMate」上に特設ページを開設。成田市・佐倉市の写真に拍手・コメントをしてもらうユーザー参加型企画を実施した。

期間：令和元年12月12日(木)～令和2年2月3日(月)

周知方法：パナソニックサイトでの案内、パナソニックニュースリリースなど。

その結果、大手媒体社（朝日、産経など）を含む35社に情報が掲載された。

実施方法：特設サイトにアクセスし、「成田市・佐倉市」のアルバム内の写真に拍手をした方の中から抽選で賞品をプレゼントした。

結 果：応募総数	4, 043人
総拍手数	31, 061件
総コメント数	258件

- 令和2年度は、本年度の開催実績を踏まえ、香取市・銚子市においてもモニターツアー及び誘客プロモーションを実施し、今後の商品造成を目指していく。

## ○ 地方創生と連動したDMO養成塾

### [県・市町村が行う地方創生関連事業と連携・連動した事業]

地方創生に有効な取組としてDMOを核とした本来あるべき組織体制を理解し、持続的な地域経営ノウハウを確立する講座を、令和元年度から令和2年度にかけてシリーズで開催する。

本年度においては、第1回目となる講座を「第2回県内経済活性化セミナー」として開催した。

日時：令和2年3月18日（水）

場所：京成ホテルミラマーレ 6階 「ローズルーム」

内容：「持続可能な地域経営に向けて何をすべきか」

生産年齢人口の減少により地域経済の後退が進む地域にとって、今後も地域として存続していくために必要な、地域経営のノウハウ、体制づくりなどについて提言した。

講師：JTIC、SWISS代表 山田 桂一郎 氏

- DMOは地域経済を活性化するための手段であるとの認識を示すとともに、参加者からは、今後も引き続き参加したいとの声を多数聞くことができ、今後のシリーズへの導入としての役割を十分に果たすことができた。

## ○ 日本文化の発信によるターミナル空間の価値向上及び近隣エリアへの誘客

### 【県・市町村が行う地方創生関連事業と連携・連動した事業】

成田国際空港を経由する訪日外国人や県外観光客の県内への誘客を促進するため、国立歴史民俗博物館が所蔵する「江戸図屏風」の高精細画像をもとに、ファブリック素材とLEDバックライトの照射により、紙よりも鮮やかな色再現が得られる「光る江戸図」を製作し、4言語（日本語・英語・中国語・韓国語）対応の解説用ICT機器と併せて成田国際空港内での展示を実施する。

本事業を通じて同博物館が位置する佐倉市をはじめとする県内への誘客を促し、交流人口の拡大を目指す。

本年度においては、「光る江戸図」の制作を実施し、解説用ICT機器と併せて成田国際空港内での展示を令和2年3月より開始した。

期 間：令和2年3月12日（木）～令和2年9月30日

展示場所：成田国際空港 第2ターミナル 出国手続き後エリア

（「NARITA SKY LOUNGE 和」内）

※新型コロナウイルスの影響によって、展示場所は閉鎖されている。（令和2年8月現在）

➤ 今後は展示品を通じて、佐倉市をはじめとする県内交流人口の拡大を目指していく。

## ○ ユニバーサルツーリズムの促進

### 【東京オリンピック・パラリンピックをはじめとする時機を捉えた事業】

オリパラへの対応や高齢者比率の増加を見据え、今後ますます需要の高まりが想定されるユニバーサル対応への機運を醸成する。

本年度においては、昨年度から実施地域を変更し、ユニバーサル対応への準備を促進するため①座学・フィールドワーク②モニターツアー③事後フォロー勉強会を千葉県観光物産協会等と連携して実施した。

#### ① 座学・フィールドワークセミナー

日 時：令和元年9月5日（木）

場 所：渚の駅・たてやま

内 容：「ユニバーサルツーリズム」という考え方

国内外のツアー事例を通じて工夫を知りヒントを探る

障がい者サポートガイドの解説

体験（車いす、アイマスクを使用した疑似体験）

講師 KNT-CTホールディングス（株）

事業戦略統括部課長 荻山 知弘氏

②モニターツアー

日 時：令和元年10月24日（木）

行 程：JR千葉駅⇒漁師料理たてやま（昼食）⇒渚の駅たてやま（海釣り体験・浜辺体験）⇒道の駅とみうら（お買い物）⇒JR千葉駅

内 容：モニターツアー参加者に同行しながら、意見交換を行う。

③事後フォロー勉強会

日 時：令和元年12月6日（金）

場 所：渚の駅・たてやま

内 容：「ユニバーサルツーリズム」という考え方

今年度の本事業にかかる実施概要を（株）近畿日本ツーリスト首都圏千葉支店より説明し、地元商工会議所を交えて今後のユニバーサルツーリズムにかかる受け入れ態勢などについて意見交換を行った。

➤ 座学・フィールドワーク・モニターツアー・事後フォロー勉強会を通じて、参加者のユニバーサルツーリズムに対する機運醸成が図られた。

○ **競技開催地とホストタウンや周辺市町村が連携した情報発信・観光誘客等の促進**

**[東京オリンピック・パラリンピックをはじめとする時機を捉えた事業]**

東京オリンピック・パラリンピックの開催機運が高まるなか、成田空港を利用する訪日客に向けて、県内で開催される競技や県内のホストタウンを紹介し、関係自治体の認知度向上を図り、観光誘客等を促進する。

本年度においては、ホストタウンを紹介する映像を製作し、令和2年度当初からの空港内での放映を予定していたが、新型コロナウイルスの影響による大会延期や訪日客の落ち込みを受けて、放映を見送った。

➤ 本年度製作した紹介映像については、ホストタウンへの提供を行い、その活用を図ることとしたい。



## ○ 空港関連企業の雇用確保に向けた教育機関と連携した取組

[県内大学等の教育機関等と連携した人材育成や知見の活用を目指す事業]

成田空港の機能強化によって、航空機発着枠回数が、現行の30万回から50万回化に拡大された場合、空港関連企業は、大量の従業員を確保する必要に迫られることが予測されている。

本年度においては、空港関連企業の雇用確保に向けて、企業と教育機関との意見交換の場を設けるなど、企業と教育機関との連携の促進を図った。

### (1) 大学との対話

日 時：令和元年10月8日（火）

場 所：NAAビル内 会議室

出席者：成田国際空港（株）

敬愛大学、城西国際大学

千葉県総合企画部空港地域振興課

議 題：①空港の機能強化に伴う雇用問題の提起

②各主体の取組

③意見・情報交換

### (2) 専門学校、高等学校との対話

新型コロナウイルスの影響により、開催を見送った。

- 成田国際空港（株）と地元大学とが、対話を通じて、雇用分野における課題や問題の共有を図ることが出来た。

## ○ 県内観光情報・成田空港の魅力発信

[過去5年間の成果を更に拡大していく事業]

WEB等を活用した国内外に対する県内観光情報の効果的な発信及び地域における成田空港の魅力発信を行う。

本年度においても、訪日外国人の県内誘客を企図し、多言語発信対応WEBサイトでの魅力発信を継続した。東京オリンピック・パラリンピック競技大会の機運醸成を目的に、競技開催地である千葉市及び一宮町の情報を掲載した。

テ ー マ：「東京近郊のレジャースポット！千葉県・海浜幕張エリアでできる5つのこと」

「サーフィンのメッカ！東京五輪の開催地・千葉県一宮町の楽しみ方」

媒体：外国人向けウェブマガジン「MATCHA」

配信言語：8か国語（日本語、英語、中文繁体、中文簡体、タイ語、韓国語、インドネシア語、ベトナム語）

- MATCHAの掲載記事は無期限に閲覧可能という特性があることから、近隣エリアへの来訪時やオリンピック開催が迫るなかで、より多くの方の閲覧が見込まれる。

## ○ 第1回県内経済活性化ビジネスセミナー

### 【過去5年間の成果を更に拡大していく事業】

平成30年度に実施した「成田空港関連企業の雇用ニーズ調査（株ちばぎん総合研究所）」及び「アジア経済圏におけるマーケティング調査（株JTB千葉支店）」の調査結果を報告した。

実施日：令和元年7月18日（木）

会場：オークラ千葉ホテル

内容：テーマ「成田空港関連企業の雇用ニーズ調査 結果報告」

講師（株）ちばぎん総合研究所 調査部長 関 寛之 氏

テーマ「アジア経済圏におけるマーケティング調査 結果報告」

講師（株）JTB 千葉支店 支店長 藤川 誠二 氏

（株）Fun Japan Communications

安原 暢郎 氏

参加者：99団体

- 「成田空港関連企業の雇用ニーズ調査 結果報告」においては、成田空港関連企業を取り巻く内部・外部環境を分析の上、雇用促進に向けた提言があった。また、「アジア経済圏におけるマーケティング調査 結果報告」においては、千葉県の魅力をしっかり伝えれば外国人旅行者の訪千葉意向は高まるため、旅前の情報収集段階で認知向上策を講ずるべきなどの提言があった。

## ○ 第2回県内経済活性化ビジネスセミナー【再掲】

### 【過去5年間の成果を更に拡大していく事業】

地方創生に有効な取組としてDMOを核とした本来あるべき組織体制を理解し、持続的な地域経営ノウハウを確立する講座を令和元年度から令和2年度にかけて

シリーズで開催する。

このシリーズの導入として、第1回目となる講座を「第2回県内経済活性化セミナー」として以下のとおり開催した。

実施日：令和2年3月18日（水）

会 場：京成ホテルミラマーレ

内 容：持続可能な地域経営に向けて何をすべきか

講師 JTIC. SWISS代表 山田 桂一郎氏

参加者：76名

- 生産年齢人口の減少により地域経済の後退が進む地域にとって、今後も地域として存続していくために必要な、地域経営のノウハウ、体制づくりなどについての提言があった。

## （2）空港利用促進事業

### ○ 空港利用促進PR等

**【過去5年間の成果を更に拡大していく事業】**

新規就航等の時機を捉えたPRとして、会員及び就航先と連携し、空港利用促進や千葉県の魅力等を紹介するプロモーションを実施した。

- ・ジェットスター・ジャパン庄内線新規就航

日 程：令和元年8月3日（土）

イベント名：酒田花火ショー

会 場：最上川河川公園（酒田市）

内 容：PRブースでの成田空港・千葉県の魅力紹介、パンフレット等の配布、八街産落花生つかみどり

- 就航先における、多くの人々が集うイベント会場において、成田空港の利便性や千葉県の魅力等をPRすることが出来た。

## （3）基本的な取組

### ○ 要望活動

- ・首都圏中央連絡自動車道及び北千葉道路の整備推進に関する要望

昨年度に引き続き、圏央道及び北千葉道路の整備推進に関する要望活動を、関係

2団体とともに、国等関係先に対して行った。

実施日：令和元年11月12日（火）

要望先：財務大臣、財務副大臣、財務大臣政務官、財務事務次官、主計局長、国土交通大臣、国土交通副大臣、国土交通大臣政務官、国土交通事務次官、道路局長、財務省・国土交通省幹部職員及び県選出国會議員

同時に要望した関係団体：千葉県議会首都圏中央連絡自動車道推進議員連盟  
首都圏中央連絡自動車道建設促進県民会議

## ○ 会員相互の情報共有

- ・ 協議会の活動を広く広報するため、プレスリリースはもとより、各種メディア媒体の利用や報道機関へのアプローチを展開することにより、メディアへの露出を積極的に図った。
- ・ 協議会の会員向けにメール等での情報発信を行い、会員間における活動状況や成果の共有を図った。
- ・ 会員によるプロモーションと連携・連動し、協議会及び協議会会員のPRを行った。

## ○ 事業の見直し（会員提案の検討・実施）

### ・ 会員提案の募集

令和2年度事業に係る本県の経済活性化につながる取組として、他の会員との連携・協働により取り組みたい事業の提案及びセミナー等の要望について、募集した。

（なお、会員からの事業提案は随時募集している。）

募集期間：令和元年12月2日（月）～令和元年12月20日（金）まで

提案状況：① 会員からの事業提案（11件）

② セミナー等要望（5件）

③ 自由意見（5件）

### ・ 会員提案の検討・具体化

令和元年度事業として、以下の会員提案を事業化し実施した。

- ・ CHIBAビジコンとの連携による新規事業創出の促進
- ・ アクティビティ（体験型）商品開発
- ・ 航空/空港関連企業との商談会
- ・ ランドオペレーターとの商談会
- ・ 訪日客等への「おもてなし」食プロジェクト
- ・ 日本遺産等を活用した誘客促進

- ・ 日本文化の発信によるターミナル空間の価値向上及び近隣エリアへの誘客
- ・ ユニバーサルツーリズムの促進
- ・ 競技開催地とホストタウンや周辺地域が連携した情報発信・観光誘客等の促進
- ・ 空港関連企業の雇用確保に向けた教育機関と連携した取組
- ・ 県内観光情報・成田空港の魅力発信

## (参考) 会議等の開催状況

### (1) 総会

期 日：令和元年7月18日(木)

場 所：オークラ千葉ホテル

- 議 題：(1) 会長の選任について  
(2) 平成30年度事業報告について  
(3) 平成30年度収支決算について  
(4) 令和元年度事業計画(案)について  
(5) 令和元年度収支予算(案)について  
(6) 規約の改正について

### (2) 幹事会

#### 【第1回】

期 日：令和元年6月4日(火)

場 所：千葉県経営者会館2F特別会議室

- 議 題：(1) 令和元年度総会議案について  
(2) 総会に向けた確認事項について  
(3) 報告案件  
①アジア経済圏におけるマーケティング  
②アクティビティ(体験型)商品開発  
③将来的な人材育成を行うための調査・検討  
④県内観光情報・成田空港の魅力発信  
(4) 事業採択案件  
①CHIBAビジコンとの連携による新規事業創出の促進  
②アクティビティ(体験型)商品開発  
③日本遺産等を活用した誘客促進  
④ユニバーサルツーリズムの促進  
⑤第1回県内経済活性化ビジネスセミナーの開催

#### 【第2回】

期 日：令和元年7月24日(水)

場 所：千葉県経営者会館2F特別会議室

- 議 題：(1) 事業採択案件  
①訪日客等への「おもてなし」食プロジェクト  
②観光地域づくり事業

- ③競技開催地とホストタウンと周辺地域が連携した情報発信・観光誘客等の促進
- ④空港関連企業の雇用確保に向けた教育機関と連携した取組

### 【第3回】

期 日：令和元年10月24日（木）

場 所：千葉県経営者会館2F特別会議室

議 題：（1）事業採択案件

- ①第2回県内経済活性化ビジネスセミナー
- ②アジア経済圏におけるマーケティング
- ③地方創生と連動したDMO養成塾の開催
- ④県内観光情報・成田空港の魅力発信
- ⑤首都圏中央連絡自動車道及び北千葉道路の整備推進に関する要望
- ⑥競技開催地とホストタウンや周辺地域が連携した情報発信・観光誘客等の促進

（2）報告案件

- ①航空／空港関連企業との商談会
- ②第1回県内経済活性化ビジネスセミナー
- ③空港利用促進PR
- ④訪日客等への「おもてなし」食プロジェクト

### 【第4回】

期 日：令和元年12月18日（水）

場 所：千葉県経営者会館2F特別会議室

議 題：（1）事業採択案件

- ①アジア経済圏におけるマーケティングについて
- ②航空／空港関連企業との商談会
- ③ランドオペレーターとの商談会
- ④日本文化の発信によるターミナル空間の価値向上及び近隣エリアへの誘客

（2）選定案件

- ①CHIBAビジコン2019 成田空港活用協議会賞の選定について

（3）報告案件について

- ①首都圏中央連絡自動車道及び北千葉道路の整備推進に関する要望
- ②会員提案の募集及びアンケート調査への御協力について（依頼）

### ③成田国際空港に関する公聴会について

#### 【第5回】

期 日：令和2年3月27日（金）

場 所：オークラ千葉ホテル 2階アイリス

議 題：（1）報告案件

- ①圏央道全線開通を見据えた企業誘致に向けた取組
- ②CHIBAビジコンとの連携による新規事業創出の促進
- ③アクティビティ（体験型）商品開発
- ④航空/空港関連企業との商談会
- ⑤ランドオペレーターとの商談会
- ⑥訪日客等への「おもてなし」食プロジェクト
- ⑦日本遺産等を活用した誘客促進
- ⑧地方創生と連動したDMO養成塾の開催
- ⑨ユニバーサルツーリズムの促進
- ⑩空港関連企業の雇用確保に向けた教育機関と連携した取組
- ⑪県内観光情報・成田空港の魅力発信
- ⑫日本文化の発信によるターミナル空間の価値向上及び近隣エリアへの誘客
- ⑬競技開催地とホストタウンや周辺地域が連携した情報発信・観光誘致等の促進

#### （2）協議事項

- ①令和2年度事業計画（素案）について
- ②令和2年度総会次第（素案）について

#### （3）事業採択案件

- ①CHIBAビジコンとの連携による新規事業創出の促進
- ②アクティビティ（体験型）商品開発
- ③訪日客等への「おもてなし」食プロジェクト
- ④千葉県観光商談会（北海道）の開催
- ⑤日本遺産等を活用した誘客促進
- ⑥地方創生と連動したDMO養成塾の開催
- ⑦成田空港を中心とした周辺市町におけるシェアサイクル事業